

科目区分：共通基礎科目

授業科目名	教養特別講義					学期	曜日	校時
英語名	Special Lecture for freshmen							
担当 教官名	井口 均 岡林 隆敏 朝長 万左男	単位数	2単位	必修 選択	必修	前期	月曜日	2校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>学長、副学長及び名誉教授による特別講義により、ものの見方、考え方の多様性、課題探求、学問の面白さを知るとともに、「長崎」、「平和」及び「福祉・ボランティア」の講義により、学生生活の場である長崎を理解し、平和について学び、幸福、福祉とは何かを考え、ボランティア精神を養うことにより、学生諸君が探究心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。</p>								
テキスト、教材等								
<p>福祉：教科書は用いないで、毎回資料を配布する。 長崎：教科書は用いないで、毎回資料を配布する。参考図書：長崎県の歴史、瀬野精一郎・他著（山川出版） 図説長崎歴史散歩、原田博二著（河出書房新社） 平和：教科書は用いないで、毎回資料を配布する。参考図書：核時代の想像力：大江健三郎著（新潮社新潮選書） 日本の軍事システム：江畑謙介（講談社現代新書）</p>								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
La・Ea	毎回のレポートと出席により評価する							
授業計画								
授業計画								
第1回	4月12日	特別講演	齋藤 寛	(学長)				
第2回	4月19日	長崎	岡林 隆敏	(工学)				
第3回	4月26日	長崎	岡林 隆俊	(工学)				
第4回	5月10日	長崎	岡林 隆敏	(工学)				
第5回	5月17日	特別講演	岩堀 修明	(名誉教授)				
第6回	5月24日	特別講演	水田 善次郎	(名誉教授)				
第7回	6月7日	福祉・ボランティア	井口 均	(教育)				
第8回	6月14日	福祉・ボランティア	井口 均	(教育)				
第9回	6月21日	福祉・ボランティア	井口 均	(教育)				
第10回	6月28日	特別講演	田北 徹	(名誉教授)				
第11回	7月5日	特別講演	浦 晟	(名誉教授)				
第12回	7月12日	平和	朝長 万左男	(医歯薬)				
第13回	7月26日	平和	朝長 万左男	(医歯薬)				
第14回	8月2日	平和	朝長 万左男	(医歯薬)				
第15回	8月9日	特別講演	片峰 茂	(副学長)				

授業内容

1 福祉

- 第1回：児童虐待はこうして起こる
- ・虐待する側の問題
 - ・虐待される子どもの側の問題
 - ・家族関係や文化がもたらす問題
- 第2回：被虐待経験がもたらすもの
- ・トラウマと PTSD
 - ・身体上での障害や「多重人格」
 - ・反復を求める心のメカニズム
- 第3回：虐待者にならないための心得とは
- ・虐待としつけの区別は難しい
 - ・虐待する親に共通性はあるのか
 - ・親としてできることは何か

2 長崎 タイトル「長崎の都市形成史」

長崎市は、日本の中でも特異な都市形成の歴史を持っている。狭い都市空間の中で、外国との交流を通して、近世から近代の都市を形成してきた。そのために、狭い都市空間の中に、歴史的構造物が重層的に残され、現在の長崎市の観光資源になっている。現在の様々な長崎市の問題を考える基礎になる、長崎市の近世から近代（昭和戦前期）までの都市形成史を講義する。地形の変化、埋め立ての歴史、都市空間の形成、都市計画の歴史、港湾事業、交通体系の整備などの視点から、長崎市の都市形成の歴史を学ぶ、地図、絵図、写真、新聞資料を見ながら、都市の骨格の近代化（都市基盤の近代化）と、都市の表情の近代化（都市景観の近代化）の関係を考える。

- 第1回：町立てから江戸時代の長崎
- 第2回：外国人居留地の建設から明治時代の長崎市
- 第3回：大正・昭和戦前期の長崎市

3 平和 タイトル「平和に対する若者の責任」

- 第1回：核時代の想像力
- 広島・長崎の原爆によって開かれた20世紀の核時代における、人類絶滅の想像力の必要性を大江健三郎氏の著書を出発点にして考える。
- 第2回：平和と戦争の定義
- なぜ戦争は起きるのか？なぜ平和は必要か？なぜ人類は争うのか？
争いのない世界は築けるか？ イラク戦争を通して考える。
- 第3回：平和に対する若者の責任
- 21世紀を平和にするため、若者がなすべき貢献を多角的に討論する。